

ニーレジハーザ

Juhász Katalin

第一章 基本情報

ニーレジハーザはサボルチ・サトマール・ベレグ県の北東にある最も美しい県都である。人口は11万6000人ほどで、一戸建ての家が多い小さな町である。

面積は274,54 km²で、都心は歩いて3時間でまわれる。名前は元々カバノキの意味を持つ「ニール」であったが、地域で初めて教会が建てられた後ハンガリー語のキリストの教会を意味する「エジハーズ」という言葉が加わり「ニーレジハーザ」となった。

ブダペストから車で高速3号線に行くか、西駅や東駅から列車に乗って行くことができる。ニーレジハーザの近くにはデブレツェンやハイドソボスローやワインで有名なトカイという町がある。



トカイ



デブレツェン

第二章 ニーレジハーザの歴史

ティルパークという言葉の意味

先輩達も他のガイドブックでニーレジハーザの歴史について色々なことを書いているので、私はティルパークという言葉の意味を説明する。

ティルパークという言葉はサボルチでは今までもよく使う。ティルパークとは18世紀にスロバキアからニーレジハーザとその周りに移住した民族である。17世紀はニーレジハーザの歴史上、大変な時だった。住民が少しずついなくなって、そして1750年に町の人口は全員で500人になってしまった。しかし1753年にカーロリ・フェレンツ伯爵、当時のニーレジハーザの領主は、はスロバキアの開拓者に特別な手当を支給し、貢物を少なくし、宗教の自由を保障して町に移住させた。このようにして受けた土地にティルパークの人は集まって、家や厩を建てたり、屠畜場を開けたりしてニーレジハーザに集落がつくられていった。ティルパークの人が住んでいる集落は低木の意味で「ボコル」と言う。アンタルボコル、ヴァユダボコル、ローカボコル（狐低木）などはこうして生まれた集落である。ティルパークのおかげでニーレジハーザはまた急速に発展し、1876年には県都となった。今までもニーレジハーザの近くにティルパークがいる。

現在ニーレジハーザに住んでいる人はティルパークに感謝している。ティルパークの言葉にもう一つの意味がある。それは、両手を使って一生懸命働くことを自慢する人という意味である。彼らは一生懸命勉強して、自分達の土地・集落・町で働くことが好きで、自分達はサボルチ人であることを大切に思っている。他の地域の人はティルパークに対してネガティブで頭が悪いと思っている人もいるかもしれない。しかしティルパークたちにとって田舎の生活は何も恥ずかしいことではない。今でも「私がティルパークですよ。文句あるか。」と、ニーレジハーザや周辺地域出身であることに対するプライドが高い。そしニーレジハーザや周辺地域に帰るときに「ティルパークに帰る」という人も多らしい。この言葉はとても明るくて楽しい話の時、誰も傷つけないようにポジティブな意味として使います。



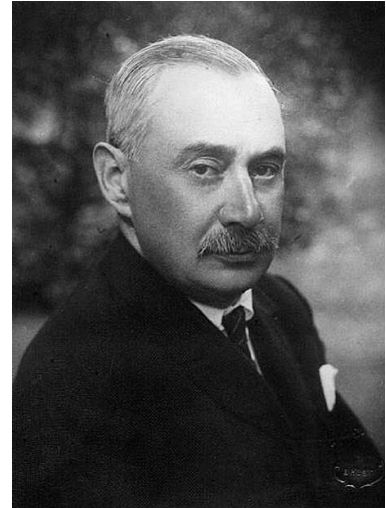
第三章

ニーレジハーザの有名人

クルーディ・ジュラ

1878年にニーレジハーザで生まれた作家である。さまざまな小説を書いた、もっとも有名な作品は「7羽のふくろう（ハンガリー語で Hét Bagoly）」。優れた作家や学者に与えられるバウムガルテン賞も受賞した。彼はニーレジハーザで勉強し、1892年この町で記者として「ニーレジハーザの雑誌事務所」を開けた。町の劇場の前にクルーディの彫刻がたてられている。この近くにはクルーディの名前がついたクルーディ・ジュラ高校もある。この高校はニーレジハーザで最難関の高校の1つで、ここに入ることは今でも難しい。

クルーディ・ジュラの彫像



第四章

ニーレジハーザの名所

ニーレジハーザのもっとも有名な所はショーシュトーズーという動物園である。ショーシュトーは都心から5 km遠く郊外にある。有名な動物学者*アンソニー・シェリダンの「WhatZoo'scando?」の調査によるとヨーロッパで18番目に大きな動物園である。1974年にオープンした、それからずっと発展し続けている。中には水族館もあるし、アザラシ・ショーもあるし、いつでも行っても絶対に動物の赤ちゃんが見えて愛撫もできる。時々町からショーシュトーへ子供鉄道も走っている。

開店時間

夏 9時～19時

秋 9時～18時

冬 9時～16時

ホームページ：

<http://www.sostozoo.hu/informacio>



*ある日、私はアンソニー・シェリダンと会ったことがある。ブダペストに行くときニーレジハーザの駅で1人の英語を話すおじいさんが切符を買おうとしていました。しかし駅員は英語がわかりませんでした。それで私はこのおじいさんを助けました。チケットを買った後電車に乗って、席に座ると、またこのかわいいおじいさんが現れました。おじいさんはまごまごしながら席を探していました。「しょうがない」と思って、笑顔で助けてあげたのですが、切符に私の隣の席が書いてあったのでびっくりしました。ブダペストまでいっしょに行きました。このおじいさんは動物園について調査をしていてニーレジハーザの動物園に来たそうです。名刺ももらっていろいろなことについても話しました。とても楽しかったです。おじいさんはこのとても有名な動物学者であることが数年後に気が付きました。

ショーシュトール・湖

ショーシュトールは「しょっぱい湖」という意味を持っている。ショーシュトールにある温泉は昔からどんな病気でも治すと信じられている。実は塩化ナトリウムやヨウ素含まれている熱水泉である。現在は湖岸に砂浜があり、泳いだり水遊びができるようになっている。湖から数メートルのところに温水プールもある。この近くでショーシュトールのウォーターパークやパークスパがあります。夏は特に暖かい季節なのでこの二つをいっしょに開けて、一つの大きなウォーターパークになる、全部で十五のプールに入ることができる。一つのプールの中にバーがあり、お酒やジュースを飲むことができる。



アクエリウス・ウォーターパーク

ホームページ：

<http://www.sostort.hu/hu/furdok>



ショーシュトールのパークスパ



ショーシュトールの湖

第五章 ニーレジハーザのレストラン

おすすめのレストランの一つはスタートのブイトシ ブイドショー（ハンガリー語で **Bujtosi Bujdosó étterem**）である。ニーレジハーザの中心にあり、とても安くて便利なおいしいセルフサービスレストランだ。経営しているのは身体障害者や精神障害者を助ける株式会社で、このレストランや養護学校、特殊学校、職場などを経営している。このレストランに行ったら美味しくて安いご飯が食べられるだけではなく、体の不自由な人も助けられる。

値段：

スープ：250ft～420ft

メインディッシュ：310ft～600ft

ごはん：250ft

メニュー：730ft（メニューはAとBから選べるが、前日に注文する必要がある）



開店時間：

日曜日～月曜日休日

火曜日～土曜日 11時-21時

ホームページ：http://www.netpincer.hu/bujtosi_bujdosos_etterem

<http://www.startrehab.hu/bujtosi.html>

住所：4400 Nyíregyháza, Bujtos út 3 4

電話番号：06-42-411433

もう1つのおすすめは24というショーシュート湖の近くにあるアイリッシュレストランである。ここでは基本的なハンガリーの食べ物をはじめ、イギリス、ドイツ、ロシアの料理も選ぶことができる。よい気分で、ゆっくり、楽しく話をしながら食事をするすることができる。春から秋までテラスも開くので外にも座れる。夏の季節にニーレジハーザのもっともきれいな場所にあるレストランだと言える。

値段：

スープ：680ft～1150ft

メインディッシュ：1380ft～6000ft

付け合わせ：420ft～850ft

デザート：720ft～1920ft

開店時間：

毎日 10 時～23 時

ホームページ：

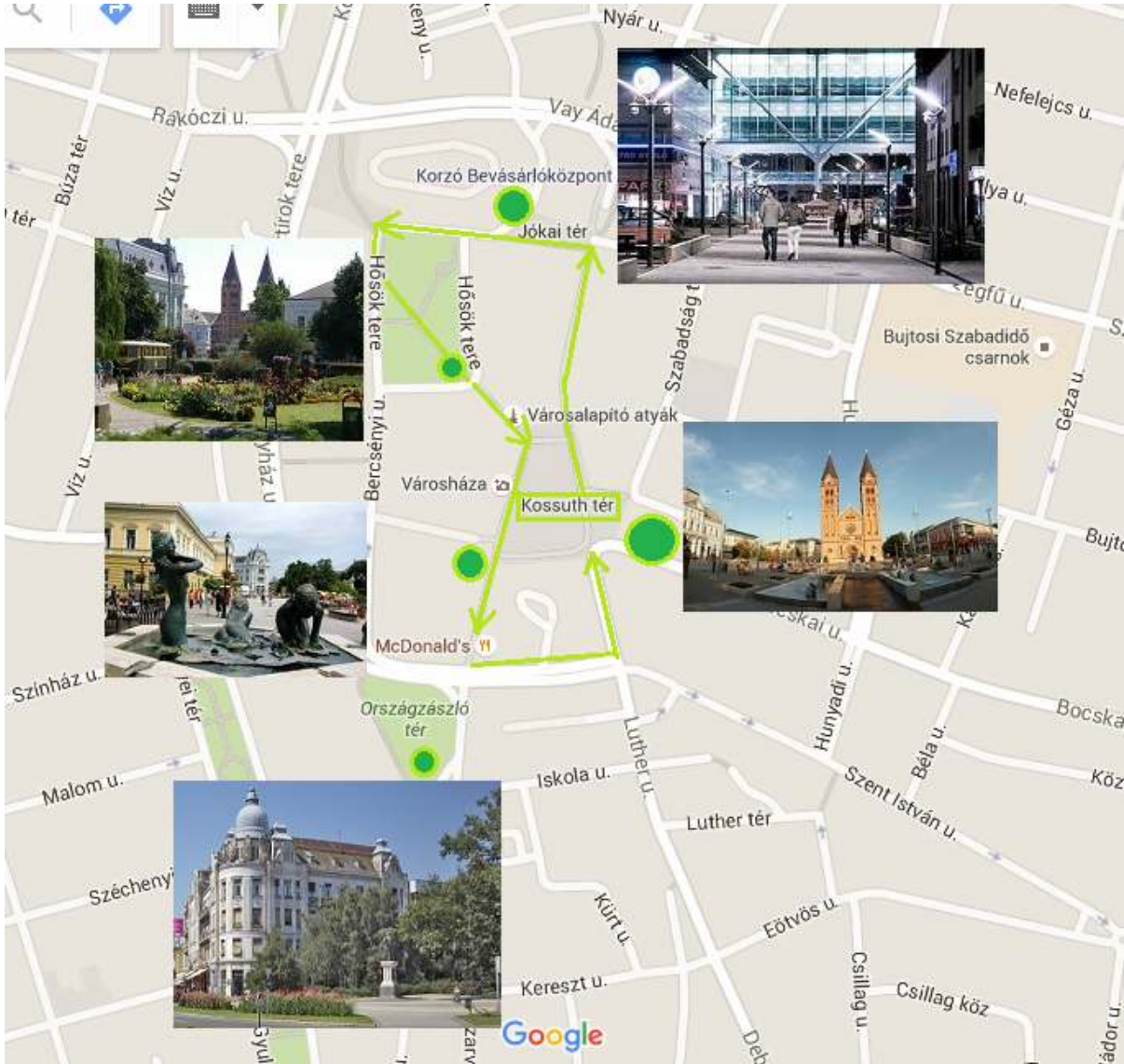
<http://www.424etterem.hu/#kezdolap>



第六章

ニーレジハーザでお散歩しよう

町の中心を歩いてみよう。ここはニーレジハーザの心とも言える。スタートは、ニーレジハーザに住んでいるみんなが大事にしている教会だ。



ここから町の各名所を訪ねることができる。10分でぜんぶ回れる。教会の前の道を右に行くと、2分ぐらいで町のもっとも大きなプラザへ着く。プラザの前で左に曲がると数分で英雄の広場が見られる。また広場を左に斜めに歩いていく。途中左側には昔走っていた路面電車を見ることができる。もう少し行くとコシュート広場に着く。そこを右に曲がって市役所のそばに歩いてまっすぐに行く。しばらく行くとマクドナルドにたどり着く。そうしたらマクドナルドの建物のかどを左に曲がる。そして最初の過度をまた左に回ると出発点に戻る。

コシュート広場の近くには美味しいレストランがいくつもある。レストランや喫茶店では外にも座れる。夏にアイスクリームを食べながら、冬には熱いワインを飲みながら町を眺めると心が和む。